

津商って

こんな学校なんです



◎学校での授業再開 感染拡大に十分留意して

6月1日(月)から、ようやく学校での授業が再開されました。これまではオンライン学習、そして分散登校による身体測定や実力試験の実施などで、通常の授業は今日からということになります。もちろん、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けてしっかり取り組みながらのスタートです。

その取組については、休憩時間でも気を緩めてはいけません。本校では、昼休みにパンの販売をしますが、飛沫拡散防止のために、防御シールドを手づくりして設置しました。つくってくれたのは学校労務員の方々。保健室だけでなく、学校全体で生徒の健康管理を進めています。



白木の枠組みに透明ビニールシートが張られた手づくりシールド

◎快挙 加戸朱夏さん 全商簿記実務検定 満点賞獲得

現在3年生の加戸朱夏さん(橋北中学校卒)が、本年の1月に受けた全商簿記実務検定1級の試験で、満点賞を受賞しました。この賞は単に100点を取るだけでなく、とめ、はねにいたるまで、文字や数字の正確さ、丁寧さ、きれいさも要求されます。今回の試験で満点賞を取ったのは、全国の受験者約3万人のうち、たったの18人。県内では、加戸さん1人だけです。まさに快挙といえるでしょう。

簿記部に所属する加戸さんは、「高校に入ってから簿記を勉強するようになったので、ニュースで使われる用語の理解が深まり、そのために社会や経済の仕組みがよくわかるようになりました」と語っています。さらに、「実は、満点賞を狙っていたので、本当にうれしい」とも。

今後の目標をきくと、「洋画が好きなので、字幕なしで見られるようになりたいです。だから、次は実用英検2級取得をめざします」と語っていました。常に向上心を持って意欲的に高校生活を送っています。



この時ばかりはマスクをはずして笑顔で

